

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	E 全
使用教科書	地域資源活用(実教出版)			使用副教材等	なし				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	・定期テスト ・ワークシート ・プレゼンテーション	・定期テスト ・ワークシート ・プレゼンテーション	・定期テスト ・ワークシート

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源に関する知見を広めるとともに、自分達の身近な資源を発見し、説明できるようになることができるようになってください。</li> <li>・実際の活動を通じて、「自然を楽しむ」ことを体験してください。</li> </ul>
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1		○オリエンテーション 地域資源活用の授業の進め方を学ぶ。	※(知)知識・技術、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
	4	○第1章 地域資源活用とは 1節 地域資源とその活用 2節 地域資源活用とプロジェクト学習 地域資源活用に関するプロジェクト学習の意義と役割について明確に位置づけ、プロジェクト学習を活用方法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源活用に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知)</li> <li>・地域資源活用に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。(思)</li> <li>・地域資源活用に関するプロジェクト学習についてみずから学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。(態)</li> </ul>
	5   7	○第2章 農山村社会の変化と地域振興 1節 農山村と都市の現状と変化 2節 地域活性化に向けた施策・取組 農山村および都市の歴史や役割の変化について理解する。 農山村における自然と共生した暮らしについて理解する。 地域社会、コミュニティの変化と現状・課題について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農山村および都市の歴史や役割の変化、自然と共生した暮らし、農的空間の現状と意義に関する知識を身に付けている。(知)</li> <li>・農山村の現状と変化について理解し、様々な観点から課題を明らかにしようとする思考を深める。(思)</li> <li>・農山村の環境に関して興味・関心を持ち、現状と課題について主体的かつ協働的に取り組むことができる。(態)</li> </ul>
2	9   10	○第3章 地域資源活用の意義と役割 1節 地域資源の魅力と価値 農林業・農山村の特徴を知り、その魅力を理解する。 自然と共生する自然観や伝統文化などからはぐくまれるアイデンティティと愛着について理解する。 身近な地域を調査して、地域資源を発掘し、資源の磨き方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共生する自然観や伝統文化などから思考を深め、アイデンティティと愛着を理解している。(知)</li> <li>・身近な地域の地域資源に焦点を当て、広い視野を持って資源を発見し、他者に表現できる。(思)</li> <li>・身近な地域の地域資源への学習を通して、積極的にあらゆる資源を活用する姿勢を持っている。(態)</li> </ul>
	11   12	第3章 地域資源活用の意義と役割 2節 地域振興に向けた施策と取組 3節 異業種連携と商品価値の創造 4節 地域資源活用の実践と課題 農山村活性化の方策の歴史と現状について理解する。 地域づくりの実践例の学習を通して、地域づくりの重要性や地域づくりの流れを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農山村活性化の方策の歴史と現状について理解している。(知)</li> <li>・地域づくりの実践例の学習を通して、地域づくりの流れやステークホルダーの役割について理解する。(知)</li> <li>・地域づくりの実践例を学び、それらの活動を身近な地域の課題解決に結び付けて考えることができる。(思)</li> </ul>
3	1   2	○第4章 地域資源の価値と活用 1節 地域資源の見つけ方と活用 2節 観光への活用 3節 商品開発への活用 4節 サービス業への活用 5節 教育・福祉への活用 日本や世界の地域資源を活用した観光・商品開発・サービス業などへの活用方法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した観光・商品開発・サービス業について理解している。(知)</li> <li>・日本や世界の事例を理解している。(知)</li> <li>・農山村がもつ食料生産以外の多様な機能について探究し思考を深めようとしている。(思)</li> <li>・地域資源の観光・商品開発・サービス業・教育・福祉への活用に関して、現状と課題について主体的かつ協働的に探究しようとしている。(態)</li> </ul>